

9 参 考 資 料

水質基準に関する省令

平成15年厚生労働省令第101号 平成16年4月1日施行

(最終改正：令和2年4月1日 厚生労働省令第38号)

水道水質基準項目及び基準値

番号	項 目 名	基 準 値	備考
1	一般細菌	1 mℓの検水で形成される集落数が 100以下であること	病原生物の 代替指標
2	大腸菌	検出されないこと	
3	カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して 0.003mg/ℓ以下であること	金属類
4	水銀及びその化合物	水銀の量に関して 0.0005mg/ℓ以下であること	
5	セレン及びその化合物	セレンの量に関して 0.01mg/ℓ以下であること	
6	鉛及びその化合物	鉛の量に関して 0.01mg/ℓ以下であること	
7	ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して 0.01mg/ℓ以下であること	
8	六価クロム化合物	六価クロムの量に関して 0.02mg/ℓ以下であること	
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/ℓ以下であること	無機物
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	シアンの量に関して 0.01mg/ℓ以下であること	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/ℓ以下であること	
12	フッ素及びその化合物	フッ素の量に関して 0.8mg/ℓ以下であること	
13	ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して 1.0mg/ℓ以下であること	
14	四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下であること	有機物
15	1, 4 -ジオキサン	0.05mg/ℓ以下であること	
16	シス - 1, 2 -ジクロロエチレン及び トランス - 1, 2 -ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下であること	
17	ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下であること	
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下であること	
19	トリクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下であること	
20	ベンゼン	0.01mg/ℓ以下であること	
21	塩素酸	0.6mg/ℓ以下であること	消毒副生成物
22	クロロ酢酸	0.02mg/ℓ以下であること	
23	クロロホルム	0.06mg/ℓ以下であること	
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/ℓ以下であること	
25	ジブロモクロロメタン	0.1mg/ℓ以下であること	
26	臭素酸	0.01mg/ℓ以下であること	
27	総トリハロメタン	0.1mg/ℓ以下であること	

番号	項 目 名	基 準 値	備考
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/ℓ 以下であること	消毒副生成物
29	ブロモジクロロメタン	0.03mg/ℓ 以下であること	
30	ブロモホルム	0.09mg/ℓ 以下であること	
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/ℓ 以下であること	
32	亜鉛及び化合物	亜鉛の量に関して 1.0mg/ℓ 以下であること	金属
33	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して 0.2mg/ℓ 以下であること	
34	鉄及びその化合物	鉄の量に関して 0.3mg/ℓ 以下であること	
35	銅及びその化合物	銅の量に関して 1.0mg/ℓ 以下であること	
36	ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して 200mg/ℓ 以下であること	
37	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して 0.05mg/ℓ 以下であること	無機物
38	塩化物イオン	200mg/ℓ 以下であること	
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/ℓ 以下であること	
40	蒸発残留物	500mg/ℓ 以下であること	一般性状
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/ℓ 以下であること	有機物
42	ジェオスミン	0.0001mg/ℓ 以下であること	
43	2-メチルイソボルネオール	0.0001mg/ℓ 以下であること	
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/ℓ 以下であること	
45	フェノール類	フェノールの量に換算して 0.005mg/ℓ 以下であること	
46	有機物等（全有機炭素（TOC）の量）	3mg/ℓ 以下であること	味
47	pH 値	5.8以上8.6以下であること	一般性状
48	味	異常でないこと	
49	臭気	異常でないこと	
50	色度	5 度以下であること	
51	濁度	2 度以下であること	

番号	項 目	目 標 値	検 査 方 法
1	アンチモン及び その化合物	アンチモンの量に関して、 0.02mg/ℓ 以下	水素化物発生－原子吸光光度法 水素化物発生－ICP法 ICP－MS法
2	ウラン及び その化合物	ウランの量に関して、 0.002mg/ℓ 以下（暫定）	ICP－MS法 固相抽出－ICP法
3	ニッケル及び その化合物	ニッケルの量に関して、 0.02mg/ℓ	フレイムレス－原子吸光光度法 ICP法 ICP－MS法
4	削除	削除	削除
5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ 以下	PT-GC-MS法 HS-GC-MS法
6	削除	削除	削除
7	削除	削除	削除
8	トルエン	0.4mg/ℓ 以下	PT-GC-MS法 HS-GC-MS法
9	フタル酸ジ (2-エチルヘキシル)	0.08mg/ℓ 以下	溶媒抽出－GC－MS法
10	亜塩素酸	0.6mg/ℓ 以下	イオンクロマトグラフ法 イオンクロマトグラフィーポストカラム吸光光度法 液体クロマトグラフィー質量分析法
11	削除	削除	削除
12	二酸化塩素	0.6mg/ℓ 以下	イオンクロマトグラフ法 イオンクロマトグラフィーポストカラム吸光光度法
13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/ℓ 以下(暫定)	溶媒抽出－GC－MS法
14	抱水クロラール	0.02mg/ℓ 以下（暫定）	溶媒抽出－GC－MS法
15	農薬類	検出値と目標値の比の和と して、1以下	農薬ごとに定められた方法による
16	残留塩素	1mg/ℓ 以下	ジエチル－P－フェニレンジアミン法 電流法 吸光光度法 連続自動測定機器による吸光光度法 ポーラログラフ法 携帯型残留塩素計測定法
17	カルシウム、 マグネシウム等（硬度）	10mg/ℓ 以上 100mg/ℓ 以下	フレイム－原子吸光光度法 ICP法 イオンクロマトグラフ法 滴定法

番号	項 目	目 標 値	検査方法
18	マンガン及び その化合物	マンガンの量に関して、 0.01mg/ℓ 以下	フレームレス－原子吸光光度法 ICP法 ICP－MS法
19	遊離炭酸	20mg/ℓ 以下	滴定法
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/ℓ 以下	PT－GC－MS法 HS－GC－MS法
21	メチル-t-ブチルエーテル	0.02mg/ℓ 以下	PT－GC－MS法 HS－GC－MS法
22	有機物等 (過マンガン酸 カリウム消費量)	3mg/ℓ 以下	滴定法
23	臭気強度 (TON)	3以下	官能法
24	蒸発残留物	30mg/ℓ 以上 200mg/ℓ 以下	重量法
25	濁度	1度以下	比濁法 透過光測定法 連続自動測定機器による透過光測定法 積分球式光電光度法 連続自動測定機器による積分球式光電光度法 散乱光測定法 透過散乱法
26	pH値	7.5程度	ガラス電極法 連続自動測定機器によるガラス電極法
27	腐食性 (ランゲリア指数)	-1程度以上とし、 極力0に近づける	計算法
28	従属栄養細菌	1mlの検水で形成される集 落数が2000以下 (暫定)	R 2 A 寒天培地法
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ 以下	PT－GC－MS法 HS－GC－MS法
30	アルミニウム及び その化合物	アルミニウムの量に関し て、0.1mg/ℓ 以下	フレームレス－原子吸光光度法 ICP法 ICP-MS法
31	ペルフルオロオクタンス ルホン酸 (PFOS) 及び ペルフルオロオクタナ酸 (PFOA)	ペルフルオロオクタンスル ホン酸 (P F O S) 及びペ ルフルオロオクタナ酸 (P F O A) の量の和として、 0.00005 mg/L 以下 (暫 定)	固相抽出－L C－M S 法

農 薬 名	用 途	目標値 (mg/ℓ)	検 査 方 法
1, 3-ジクロロプロペン (D-D) 注1)	殺 虫 剤	0.05	P T-G C-M S法 H S-G C-M S法
2, 2-D P A (ダラポン)	除 草 剤	0.08	L C-M S法
2, 4-D (2, 4-P A)	除 草 剤	0.02	固相抽出-誘導体化-G C-M S法 固相抽出-L C-M S法 L C-M S法
E P N 注2)	殺 虫 剤	0.004	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
M C P A	除 草 剤	0.005	L C-M S法
アシュラム	除 草 剤	0.9	固相抽出-H P L C法、 固相抽出-L C-M S法 L C-M S法
アセフェート	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.006	L C-M S法
アトラジン	除 草 剤	0.01	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
アニロホス	除 草 剤	0.003	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
アミトラズ	殺 虫 剤	0.006	L C-M S法
アラクロール	除 草 剤	0.03	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イソキサチオン 注2)	殺 虫 剤	0.005	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イソフェンホス 注2)	殺 菌 剤	0.001	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イソプロカルブ (M I P C)	殺 虫 剤	0.01	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イソプロチオラン (I P T)	殺 虫 剤 殺 菌 剤 植 物 成 長 剤 調 整 剤	0.3	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イブフェンカルバゾン	除 草 剤	0.002	L C-M S法
イプロベンホス (I B P)	殺 菌 剤	0.09	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イミノクタジン	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.006	固相抽出-H P L C-ポストカラム法 溶媒抽出-H P L C-ポストカラム法 固相抽出-L C-M S法
インダノファン	除 草 剤	0.009	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
エスプロカルブ	除 草 剤	0.03	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
エトフェンプロックス	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.08	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
エンドスルファン (ベンゾエピン) 注3)	殺 虫 剤	0.01	固相抽出-G C-M S法

農 薬 名	用 途	目標値 (mg/ℓ)	検 査 方 法
オキサジクロメホン	除 草 剤	0.02	L C—MS 法
オキシ銅 (有機銅)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.03	固相抽出—L C—MS 法 L C—MS 法
オリサストロビン 注 4)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.1	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
カズサホス	殺 虫 剤	0.0006	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
カフェンストロール	殺 虫 剤 除 草 剤	0.008	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
カルタップ 注 5)	殺 虫 剤 殺 菌 剤 除 草 剤	0.08	L C—MS 法
カルバリル (N A C)	殺 虫 剤	0.02	固相抽出—H P L C 法 H P L C—ポストカラム法 固相抽出—L C—MS 法 L C—MS 法
カルボフラン	代 謝 物	0.0003	固相抽出—L C—MS 法 L C—MS 法
キノクラミン (A C N)	除 草 剤	0.005	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
キャプタン	殺 菌 剤	0.3	固相抽出—G C—MS 法
クミルロン	除 草 剤	0.03	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
グリホサート 注 6)	除 草 剤	2	誘導体化—H P L C 法 H P L C—ポストカラム法 誘導体化—固相抽出—LC—MS 法
グルホシネート	除 草 剤 植 物 成 長 調 整 剤	0.02	誘導体化—溶媒抽出—LC—MS 法
クロメプロップ	除 草 剤	0.02	L C—MS 法
クロルニトロフェン (C N P) 注 7)	除 草 剤	0.0001	固相抽出—G C—MS 法
クロルピリホス 注 2)	殺 虫 剤	0.003	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
クロロタロニル (T P N)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.05	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
シアナジン	除 草 剤	0.001	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
シアノホス (C Y A P)	殺 虫 剤	0.003	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
ジウロン (D C M U)	除 草 剤	0.02	固相抽出—L C—MS 法 L C—MS 法
ジクロベニル (D B N)	除 草 剤	0.03	固相抽出—G C—MS 法
ジクロルボス (D D V P)	殺 虫 剤	0.008	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
ジクワット	除 草 剤	0.01	固相抽出—H P L C 法 固相抽出—L C—MS 法

農 薬 名	用 途	目標値 (mg/ℓ)	検 査 方 法
ジスルホトン (エチルチオメトン)	殺 虫 剤	0.004	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
ジチオカルバメート系農薬 注 8)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.005 (二酸化炭素として)	HS—G C—MS 法
ジチオビル	除 草 剤	0.009	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
シハロホップブチル	除 草 剤	0.006	固相抽出—G C—MS 法
シマジン (C A T)	除 草 剤	0.003	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
ジメタメトリン	除 草 剤	0.02	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
ジメトエート	殺 虫 剤	0.05	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
シメトリン	除 草 剤	0.03	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
ダイアジノン 注 2)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.003	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
ダイムロン	殺 虫 剤 殺 菌 剤 除 草 剤	0.8	固相抽出—L C—MS 法 L C—MS 法
ダゾメット、メタム (カーバム) 及び メチルイソチオシアネート 注 9)	殺 菌 剤	0.01 (メチルイソチオシ アネートとして)	PT—GC—MS 法
チアジニル	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.1	L C—MS 法
チウラム	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.02	固相抽出—L C—MS 法
チオジカルブ	殺 虫 剤	0.08	固相抽出—L C—MS 法 L C—MS 法
チオファネートメチル	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.3	固相抽出—H P L C 法 固相抽出—L C—MS 法 L C—MS 法
チオベンカルブ	除 草 剤	0.02	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
テフリトリオン	除 草 剤	0.002	L C—MS 法
テルブカルブ (M B P M C)	除 草 剤	0.02	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
トリクロビル	除 草 剤	0.006	固相抽出—誘導体化—G C—MS 法 固相抽出—L C—MS 法 L C—MS 法
トリクロルホン (D E P)	殺 虫 剤	0.005	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法
トリシクラゾール	殺 虫 剤 殺 菌 剤 植 物 成 長 調 整 剤	0.1	固相抽出—L C—MS 法 L C—MS 法
トリフルラリン	除 草 剤	0.06	固相抽出—G C—MS 法 L C—MS 法

農 薬 名	用 途	目標値 (mg/ℓ)	検 査 方 法
ナプロバミド	除 草 剤	0.03	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
パラコート	除 草 剤	0.005	固相抽出－LC－MS法
ピペロホス	除 草 剤	0.0009	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
ピラクロニル	除 草 剤	0.01	LC－MS法
ピラゾキシフェン	除 草 剤	0.004	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
ピラゾリネート (ピラゾレート)	除 草 剤	0.02	LC－MS法
ピリダフェンチオン	殺 虫 剤	0.002	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
ピリブチカルブ	除 草 剤	0.02	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
ピロキロン	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.05	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
フィプロニル	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.0005	固相抽出－LC－MS法 LC－MS法
フェニトロチオン (MEP) 注2)	殺 虫 剤 殺 菌 剤 植 物 成 長	0.01	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
フェノブカルブ (BPMC)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.03	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
フェリムゾン	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.05	LC－MS法
フェンチオン (MPP) 注10)	殺 虫 剤	0.006	固相抽出－GC－MS法 固相抽出－LC－MS法 LC－MS法
フェントエート (PAP)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.007	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
フェントラザミド	除 草 剤	0.01	LC－MS法
フサライド	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.1	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
ブタクロール	除 草 剤	0.03	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
ブタミホス 注2)	除 草 剤	0.02	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
ブプロフェジン	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.02	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
フルアジナム	殺 菌 剤	0.03	LC－MS法
プレチラクロール	除 草 剤	0.05	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
プロシミドン	殺 菌 剤	0.09	固相抽出－GC－MS法 LC－MS法
プロチオホス 注2)	殺 虫 剤	0.007	固相抽出－GC－MS法

農 薬 名	用 途	目標値 (mg/ℓ)	検 査 方 法
プロビコナゾール	殺 菌 剤	0.05	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
プロビザミド	除 草 剤	0.05	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
プロベナゾール	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.03	固相抽出－L C－MS 法
プロモブチド	殺 虫 剤 除 草 剤	0.1	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
ペノミル 注11)	殺 菌 剤	0.02	固相抽出－L C－MS 法 L C－MS 法
ペンシクロン	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.1	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
ペンゾピシクロン	除 草 剤	0.09	L C－MS 法
ペンゾフェナップ	除 草 剤	0.005	L C－MS 法
ペンタゾン	除 草 剤	0.2	固相抽出－誘導体化－G C－MS 法 固相抽出－L C－MS 法 L C－MS 法
ペンディメタリン	除 草 剤 植 物 成 長 調 整 剤	0.3	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
ペンフラカルブ	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.02	固相抽出－L C－MS 法 L C－MS 法
ペンフルラリン (ベスロジン)	除 草 剤	0.01	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
ペンフレセート	除 草 剤	0.07	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
ホスチアゼート	殺 虫 剤	0.005	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
マラチオン (マラソン) 注2)	殺 虫 剤	0.7	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
メコプロップ (MCPP)	除 草 剤	0.05	固相抽出－誘導体化－G C－MS 法 固相抽出－L C－MS 法 L C－MS 法
メソミル	殺 虫 剤	0.03	H P L C－ポストカラム法 固相抽出－L C－MS 法 L C－MS 法
メタラキシル	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.2	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
メチダチオン (DMTP) 注2)	殺 虫 剤	0.004	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
メトミノストロビン	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.04	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
メトリブジン	除 草 剤	0.03	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
メフェナセツト	除 草 剤	0.02	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法

農 薬 名	用 途	目標値 (mg/ℓ)	検 査 方 法
メプロニル	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.1	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法
モリネート	除 草 剤	0.005	固相抽出－G C－MS 法 L C－MS 法

注1) 1, 3-ジクロロプロペン(D-D)の濃度は、異性体であるシス-1, 3-ジクロロプロペン及びトランス-1, 3-ジクロロプロペンの濃度を合計して算出すること。

注2) 有機リン系農薬のうち、E P N、イソキサチオン、イソフェンホス、クロルピリホス、ダイアジノン、フェントロチオン(M E P)、ブタミホス、プロチオホス、マラチオン(マラソン)及びメチダチオン(D M P D)の濃度については、それぞれのオキシソンの濃度も測定し、それぞれの原体の濃度と、そのオキシソン体それぞれの濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。

注3) エンドスルファン(ベンゾエピン)の濃度は、異性体である α -エンドスルファン及び β -エンドスルファンに加えて、代謝物であるエンドスルフェート(ベンゾエピンスルフェート)も測定し、 α -エンドスルファン及び β -エンドスルファンの濃度とエンドスルフェート(ベンゾエスビンスルフェート)の濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。

注4) オリサストロピンの濃度は、代謝物である(5Z)-オリサストロピンの濃度を測定し、原体の濃度とその代謝物の濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。

注5) カルタップの濃度は、ネライストキシンとして測定し、カルタップに換算して算出すること。

注6) グリサホートの濃度は、代謝物であるアミノメチルリン酸(A M P A)も測定し、原体の濃度とアミノメチルリン酸(A M P A)の濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。

注7) クロニトロフェン(C N P)の濃度は、アミノ体の濃度も測定し、原体の濃度とアミノ体の濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。

注8) ジチオカルバメート系農薬の濃度は、ジネブ、ジラム、チウラム、プロピネブ、ポリカーバメート、マンゼブ(マンコゼブ)及びマンネブの濃度を二硫化炭素に換算して合計して算出すること。

注9) ダゾメット、メタム(カーバム)及びメチルイソチオシアネートの濃度は、メチルイソチオシアネートとして測定すること。

注10) フェンチオン(MPP)の濃度は、酸化物であるMPPスルホキシド、MPPスルホン、MPPオキシソン、MPPオキシソンスルホキシド及びMPPオキシソンスルホンの濃度も測定し、フェンチオン(MPP)の原体の濃度と、その酸化物それぞれの濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。

注11) ペノミルの濃度は、メチル-2-ベンツイミダゾールカルバメート(MBC)として測定し、ペノミルに換算して算出すること。

